

仙台市議会報告

2020年秋号
〈令和2年第3回定例会報告〉

野田ゆずる 議会レポート

■発行／仙台市議会議員 野田ゆずる 〒981-3121 仙台市泉区上谷刈3丁目7-29-D103 Tel&Fax 022(739)9630

■ご意見・ご要望がありましたら上記までお気軽にお寄せください。

今回の議会レポートは、令和2年第3回定例会の報告をさせていただきます。今定例会では、新型コロナウイルス対策費などを計上した一般会計補正予算案など21件を可決、19年度決算7件を認定いたしました。

新たな新型コロナウイルス対策費としては、感染者の発生時に事業者が施設名公表に応じた場合、最大100万円を支給する特別支援金、ドライブスルー検査場の設置負担金などを計上いたしました。

今回のレポートは、一般質問で登壇した際の質問と答弁の要点、会派自由民主党代表質疑の主な質疑を記載させていただきました。是非、一読いただき皆様の仙台市政へのご意見を頂戴したいと考えております。



仙台市議会議員 野田 譲

令和2年第3回定例会 野田ゆずる一般質問より (抜粋)

仙台市の未来都市について

野田 本市がスタートアップ・エコシステム推進拠点、SDGs未来都市に選定された報道があった。内容に違いはあるものの、専門的な知見の提供や制度面の優遇、関連予算の優先配分などの様々な支援が用意され、シティーセールス効果も期待できる。政策テーマに応じ、所管する部局がそれぞれ対応しているとの事だが、全庁的に情報を把握するとともに、仙台市の特性や強みを生かせるものに積極的に応募し、取り組んでいくべきと考えるが如何か。

答弁 都市間競争が激化し、各自治体の創意工夫によるまちづくりが求められる中において、本市の強みを活かす視点から、国のモデル事業を活用する事は極めて有効なものと認識している。本市のまちづくりの方向性との整合を始め、実現可能性や、予算面の支援規模などを総合的に検討して判断している。

今後、目指すべき方向性を全庁的な視点から見定め、



戦略的な政策推進やシティーセールスなどに大いに活用すべく、全庁的な対応で進めていきたい。

国土強靱化について

野田 まもなく10年が経とうとしている東日本大震災からの復興や、毎年のように起きる度重なる風水害、そして新型コロナウイルス感染症への対応にもあたっている市長として、本市の強靱化の必要性を強く感じていることと思うが、まずは市長の国土強靱化についての所見を伺う。

答弁 近年、全国的な風水害被害の拡大や、未知の感染症への対応など、新たな課題が生じており、本市が選ばれる街を目指すためには、安全・安心の基盤づくりが重要と考え、より幅の広い災害を想定した取り組みを進めていかなければいけないと考えている。

野田 本市の計画中間案は、風水害や感染症にもしっかりと対応している内容となっているのか。強靱な地域づくりを進めるためには計画を策定して終わりであってはならない。計画策定後の確実な進捗管理が不可欠である。本市の強靱化をどのように進めていくのか伺う。

答弁 策定中の仙台市国土強靱化地域計画には、新型コロナウイルス感染症を踏まえた、避難活動における感染症対策とともに、近年頻発する暴風雨に対するリスクも想定し総合的な風水害対策も盛り込んだ。

また、各自治体の強靱化の取り組み状況に応じた予算の優先的な配分の動きが強まっており、市長をトップとする全庁的な本部会議を立ち上げ、個々の取り組み状況や、課題等を共有し、適切な進行管理を行っていききたい。

国土強靱化

NATIONAL RESILIENCE

強く、しなやかなニッポンへ

新型コロナ感染症への対応について

野田 いつ、誰が感染してもおかしくない。身近に感染者がいるということを前提とした対処が必要だ。本市において感染防止策のチラシ、リーフレットといったものはあるのか。例えば親子3人家庭で夫婦が感染し入院した場合、子供を預けるころはあるのか。その場合の具体的な手続きはどうか、といった、ウィズコロナ時代の家庭向けマニュアルを早急に整備する必要があると思うが如何か。

答弁 本市では「だてまさむね」の合言葉による仙台生活スタイルのポスターや、日常生活で気をつけることなどについて記載しているリーフレット、知っていただきたいことなどをホームページに掲載している。

また、家庭それぞれの事情や症状などが様々であることから、マニュアルで示す事は難しい面があり、個別の状況に応じて小児科等の専門家の意見をいただきながら、事案ごとに入院や宿泊療養預け先等の調整を行っている。引き続き個別の状況に応じた、きめ細かな対応が図れるよう取り組んでいききたい。

日常生活に「新しい生活様式」を

せんだい生活スタイル

- た** 大事な人を守るために
- て** 手洗い30秒
- ま** マスクをしよう
- さ** 3密避けて
- む** 向かい合わない
- ね** ネットも活用

① 仙台市

野田 家族が新型コロナウイルスで入院し、介護者が不在となる場合や、本人が陰性の場合に受け入れる短期入所協力施設、

医療機関への入院が難しい場合に受け入れるケア付き宿泊療養施設等、体制整備が必要と考えるが如何か。

答弁 本人が陽性である場合は、重症化リスクが高いことを考慮し病院への入院を原則とし、また、陰性の場合は、特別養護老人ホームや老人保健施設等へのショートステイをご利用いただくことを想定している。

野田 最新の感染状況をお知らせする事は必要ではあるが、連日のように同じような記者会見の様子が映し出されると、市民の方から記者会見に関してどのような意見が寄せられているのか。

答弁 患者の職場や学校を教えてほしいなどのお声や、毎日の会見は不要であるとの声もいただいている。

野田 個人情報に配慮しつつも、市民の方が最も知りたいことをお伝えすることが必要と考えるが、如何か。

答弁 患者やご家族など関係者の人権に配慮しながら、感染拡大防止に資する情報の提供に努めていく。

野田 新型コロナに感染し、回復した市民の方からは、どのような要望や意見が寄せられどのように対応したのか。

答弁 保健所への対応への感謝の声をいただいている一方、4月の感染拡大の際の患者の方からは、入院先の決定に時間を要したこと等に対するお声もいただいている。

市長の発信力強化について

野田 市の職員は、言ってみれば市長を社長とする会社の社員である。これまで培ってきた社風を土台にしながら、社員の自由闊達なアイデアをリアルタイムに施策として実現し、仙台方式として全国のモデルとされるような施策を市長自らリーダーシップを発揮して推進していく発信力の強化を求めたい。改めて市長の決意を伺う。

答弁 スピード感を持った対応が必要との認識から、進捗状況も含め関係局長と定期的に意見交換をし、状況を把握し適切な対応を行ってきた。

新型コロナウイルスの感染状況は未だ予断を許さず、経済的、社会的な影響等についてもまだ先が見通せない状況が続いており、引き続き動向をしっかりと見極めながら組織の有り様や必要な体制についてさらに検討を進めていききたい。

令和2年第3回定例会 自由民主党代表質疑より (抜粋)

残り任期一年の市長の所管について

質問 就任から3年、これまで仙台市長としての自らの取り組みをどう総括しているのか。残り一年を切った任期は、これまでの状況とは全く次元を異にする取り組みが求められている。全世界を席卷するコロナ禍にあって、市民の命を守り、甚大な被害を受けた地域経済の立て直しを同時に行う施策はもとより、今後は、アフターコロナも見据え、本市の未来を決定づけるといっても過言ではない市政の舵取りが求められる。その際、本市のみならず、県・国との連携がますます重要になってくるものと推測する。その点も含め市長はどのように残り一年を取り組んでいくつもりか、その決意を伺う。

答弁 一連の新型コロナウイルスへの対応に注力し、ウィズコロナともいわれる中での市民生活の安全・安心、地域経済の回復・発展に全力を上げていく。

併せて、東日本大震災から10年を迎える中で、新たな総合計画の策定を進めている。これからは、復興の経験を最大限に活かしながら、様々な方々の知恵や力を結集し、挑戦を重ねることが一層重要になる。市民の皆様とともに、仙台の確たる未来に向けたまちづくりに向けて全力で取り組んでいく。

財政運営について

質問 一般会計歳出決算について前年度と比較すると、歳出は221億円、4.4%の増加、歳入は178億円、3.5%の増加となっている。また、少子高齢化の進行による社会保障関係経費の増加は続いており、経常収支比率も98.7%と高止まりの状態、これまでの決算から大きな変化は見受けられない。

この決算には、新型コロナウイルス感染症による影響がほとんど反映されていない。今年度全国的な感染拡大に伴い、本市においても数次にわたり、補正予算を講じ、対策を進めている。国や県からの財政支援のみで全額賄えるはずもなく、事業の見直し、財政調整基金や中小企業活用化基金の繰入金その他、12年振りとなる資産管理基金からの借入にも踏み込んでいる。かつてない厳しい予算で、令和2年度の決算をどう見込み、財源を含めどう対応していく考えか。

答弁 新型コロナウイルス感染症の影響により、市税の徴収猶予や施設使用料の減

免、全国的な経済情勢の悪化に伴う地方消費税交付金の減少が見込まれ、現時点において約55億円の収支差が生じる見通しとなっている。

今年度は、市民の安全・安心の確保や、地域経済の回復などに向けた感染症対策を着実に進めるため、引き続き、事業見直しに取り組むとともに、国が新たに創設する市税の徴収猶予に係る特例的な地方債等の活用も図り、必要な財源を確保していきたい。

質問 危惧するのは、今の経済状況の悪化は、来年度に納付される市税収入に影響するということ、つまり来年度の予算編成に大きく影響するということだ。

コロナ禍が今後本市の経済、財政に及ぼす影響は全くもって見通すことはできず、数百億円規模の建設費が見込まれている、本庁舎の建て替えや音楽ホール建設への影響も懸念される。

今後の財政運営は、ウィズコロナ、アフターコロナという中長期的な視点が重要となってくる。今こそ、財政運営の基本に立ち返り、歳入アップと歳出削減という両面での再検討が必要と考える。

コロナ禍の先にある時代の変化に耐える財政基盤をどう構築し財政運営を行っていくのか、新年度の予算編成に向けた所見を伺う。

答弁 感染症の影響に伴う市税収入の大幅な減少等により、令和5年度までの3年間で約1162億円の収支差が見込まれるなど、極めて厳しい状況にあると認識している。

さらなる感染症対策も想定しながら、国に対し財政支援の充実について働きかけを行い、事業見直しによる財源の捻出や予算の厳選重点化を図る事はもとより、さらなる基金の活用も視野に入れ、予算編成に着手していく。



診療所 PCR 検査等の支援について

質問 今後、インフルエンザの流行により多数の発熱患者の受診が想定されることに備え、2億7700万円余りの追加が提案されている。診療所における検体採取等の支援は、新たな取り組みで、どんな課題認識を持ち提案に至ったのか。

答弁 診療所スタッフの安心に最大限配慮しつつ、発熱症状がある患者が円滑に受診できる体制の確立を目的に実施する。

唾液によるPCR検査が認められたことも受け、あらかじめ検査を行うことにすれば、新型コロナウイルス拡大防止とともに、発熱患者に対する診療所のリスク低減にもつながるものと考えている。

質問 今後、秋冬にかけて多数の発熱患者が発生することを想定し、患者が安心して受信できる診療体制を早期に確保す

ることが重要だ。如何か。

答弁 発熱患者が医療機関を受診できる体制を早期に整えていくことが重要で、ご協力いただける診療所の確保に努めるとともに、早期の実施が図られるよう引き続き仙台市医師会と協議していきたい。

運動部活動における感染症対策について

質問 6月の学校再開以降、各学校様々な対策が行われている。中でも屋内で行う競技については、特に換気や接触等感染リスクに注意を払う必要がある。如何か。

答弁 活動前後の健康観察や手洗い、使用した器具の清掃等に努め、各競技団体が作成したガイドラインを踏まえ、扇風機も活用しながら換気を常時行い、密閉状態を避ける工夫も行っていく。

質問 他校との練習試合や遠征に関しては場所にもよるが、コロナ禍にあって参加する生徒やその保護者の理解が必要だ。

他校との練習試合や遠征を実施するにあたっての留意点について伺う。

答弁 健康観察や手洗いの徹底等に加え、大声での応援は行わない事や、人数を制限する等の密を避ける取り組みが必要と考えている。遠征先の感染状況を把握し、生徒間の接触機会が多くなることから、換気の徹底や会食時の飛沫感染防止策を講じることも重要と認識している。

質問 10月には本来なら新人大大会が開催される予定だが、状況はどうなっているのか。6月の中総体が中止となったこともあり、引退した3年生の分まで頑張ってもらいたい、心から願う。保護者と外部の方々の観覧の可否も含め、大会開催に当たって感染防止対策について伺う。

答弁 新人大大会は、10月に開催する予定で準備を進めている。会場の分散、無観客とする方向で、仙台市中学校体育連盟と調整している。競技会場の換気の徹底など、適切な感染防止策を講じ、安全・安心な大会運営に取り組んでいきたい。



【その他の質疑項目】●産業政策の方向性●新基本計画●次期「杜の都環境プラン」●救急活動時の感染症対応マニュアル●乗り合いバス事業に係る県補助金の対応●浸水対策●ガス事業民営化について等、多岐にわたり質疑が行われました。

声をお聞かせください

仙台市や地域に思う事または、行政や国に対して思う事など皆様のお考えをお聞かせください。下記のハガキにお書きいただき、お近くのポストにご投函お願い致します。

郵便はがき

9 8 1 - 3 1 9 0

料金受取人払郵便

泉 局
承 認

36

(受取人)
泉区上谷刈3丁目7-29
D棟103

仙台市議会議員(泉区)

野田 ゆずる 行

差し出し有効期間
2021年4月
30日まで

切手不要

あなたの声をお聞かせくださいお聞かせください



お名前	フリガナ	生年月日
住所	□□□□□□□□	
電話番号	ご職業	
	()	
意見	お住いの地域のお困り事、普段から疑問等に思うことなど何でもかまいません。仙台市政へのご要望などがありましたらお気軽にご記入お願いします。	
	
	
なにかとあなただけの大切な声		

皆様からご記入いただきました個人データは「野田ゆずる議会報告」等の連絡などに使用しそれ以外の使用はいたしません。